

## ●◇ 図書室紹介 ◇●

## 成田赤十字病院 図書室

松原 洋子

当院は言うまでもなく国際空港と、初詣で賑わう成田山新勝寺で知られる成田にあります。

病院の開設は、昭和 23 年で、以来増改築を重ね、平成 12 年 6 月に地上 8 階、地下 1 階の新館が完成し、職員数 955 名、病床数 732 床となり、オーダーリングシステムも導入され、地域の中核病院としての役割を担っています。

図書室は、私が配属された平成 5 年までは無人で、1 階に倉庫 (32 m)、5 階に図書室 (51 m) と分かれており、倉庫は引越し業者が棚に納めたままだった為、時間を見つけて倉庫にもぐり、カビと埃を吸いながら整理しました。しかも当初は半日勤務の上、図書室担当者の仕事がどんなものか全く解らず、平成 8 年、病院図書室研究会に入会し、間もなく日赤図書室担当者の研修会に参加して、皆さんの活躍に驚かされたものです。周りのレベルの高さに刺激されながら、平成 10 年に司書アシストを導入し、現在はアシストの機能をほぼ活用して、コンピューター管理をしていますが、遡及入力には至ってない為、バーコードが貼っていない書籍の貸出しは、従来どおり自己申告となっています。

文献検索は、医学中央雑誌 CD-ROM が過去 3 年分と WEB のセット利用をしていますが、来年は CD-ROM を中止して、JOIS と両方の利用を検討中です。

新館の完成に伴い新しい図書室は 142 m<sup>2</sup>と広くなりましたが、改修棟の為、耐震壁を取り除く事が出来ず、図 1 は閲覧室、図 2 は書庫と、

全くの 2 部屋に分かれてしまった事が、最大の難点です。しかし書架だけは譲れませんでした。



図 1 閲覧室

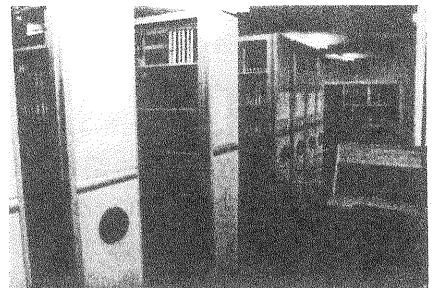


図 2 書庫

管財課より固定書架にする様に言われましたが、固定書架では、所蔵雑誌の廃棄と、今後の収納が困難な為、移動書架の必要性について図書委員長の理解を得て、購入にこぎつけました。それにより約 5000 冊の製本雑誌を収納し、今後約 5 年分の収納スペースを確保しました。

新図書室のレイアウトは、NTT 東日本関東病院の長谷川さんに御世話になりました。

まだまだ未熟な為、皆さんにはご迷惑をお掛けしていますが、今後共どうぞ宜しくお願い致します。

MATSUBARA Youko

成田赤十字病院

tosho@naritasekijui.jp